



タイトル「**2023年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT3323		
科目名	危機管理特殊講義 3（感染症対策）		
担当教員	尾崎 哲則		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	木 4		
講義室	1205	単位区分	選
授業形態	講義	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門展開		
科目小分類	専門・基礎		
科目の位置付け（開発能力）	■DP3 問題を探究し、状況を的確に把握・分析して、合理的な判断につなげられる知性 DP6 多様な価値を受容し、対立を乗り越え、協働を通じて社会の安定、安全と世界の平和を希求する公共心 ■E1学識と専門技能-50%・I2量的分析-20%・I3情報分析-30%		
教員の実務経験	医療機関における感染対策に関わる実務および研究をしてきた経験を活かし、感染症対策について基本事項を分かり易く授業をします。（第3回・第9回・第10回）		
成績ターゲット区分	3発展期～4定着期		
科目概要・キーワード	自然の開発に伴って新たな感染症が発生するリスクが高まり、大量高速輸送機関の発達に伴うグローバル化が進展する中、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）にみられるように地球上のどこで発生した感染症であっても短時間のうちに世界中に広がる危険性があります。また、感染性病原物質を使用したバイオテロの発生もかねてより懸念される中、感染症管理の重要性は益々高まっています。新興・再興感染症、さらにバイオテロのリスクの特定、評価、分析、医療現場や社会における感染制御、病原物質の管理、国際協力など様々な分野における取組について実例に基づいて概観し、課題を抽出し、さらに効果的な対策を考察します。 ■キーワード 感染症・疫学・感染症関連法令・国際協力・バイオテロ 授業形式は、講義形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れます。		
授業の趣旨	■副題 いついかなる時でも、感染症管理は重要な危機管理の項目であることを学びます。 ■授業の目的 危機管理学を専攻する者として必要な感染症管理の基本的事項を修得します。 ■授業のポイント 感染症管理の重要性が高まる中、感染症（バイオテロも含む）について、感染制御、病原物質の管理、国際協力などについて様々な分野から学修します。		
総合到達目標	■公衆衛生的な観点から感染症の健康危機について概説できる。 ・感染症対策の基本的事項について説明できる。 ・感染症対策における危機管理に必要な事項を概説できる。 ・危機管理（感染症対策での）時での判断の重要性を説明することができる。		
成績評価方法	■ レポート 3回（30%） （評価の観点）授業の内容を踏まえて、論理的に社会で起きている事項を説明できるかをはかります。 （フィードバック方法）レポート提出後の授業時間中にポイントを解説します。 ■ リアクションペーパー 12回（70%） （評価の観点）レポート課題が出されない授業において、当該授業の理解・関心度を図ります。 （フィードバック方法）次回授業で、解答例を述べるのみならず、多くの受講生での不足部分や不明な部分をおさらいします。		

履修条件	公衆衛生学（RMGT3364）を履修後の受講が望ましい。	
履修上の注意点	感染症をキーにして、生物学から法令・人権にわたるまで、幅広い内容を対象にします。また、毎回振り返りを行いますので、積極的な受講態度が求められます。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ 健康という概念と健康危機 ②授業概要 健康の位置づけと予防医学の概念を概説することができる。（E1） ③予習（120分）健康の概念を調べる。 ④復習（120分）疾病の自然史を確認する。
	2	①授業テーマ 公衆衛生と衛生行政 ②授業概要 公衆衛生の行政での役割及び公衆衛生活動を概説できる。（E1） ③予習（120分）公衆衛生行政について調べておく。 ④復習（120分）公衆衛生行政の特性を再度確認する。
	3	①授業テーマ 感染ということ（汚染・感染・発症） ②授業概要 感染症の成立について概説することができる。 担当教員の実務経験を踏まえて、汚染と感染の違いについて、具体的な事例で説明します。（E1,I2,I3） ③予習（100分）感染と汚染の違いを調べておく。 ④復習（140分）感染症の成立要件を確認する。
	4	①授業テーマ 感染症と疫学 1 ②授業概要 疫学の概要を述べることができる。疫学の基本的な研究方法について述べる ことができる。（E1,I2,I3） ③予習（120分）疫学とは何かについて、調べておく。 ④復習（120分）疫学の公衆衛生での位置づけについて確認する。
	5	①授業テーマ 感染症と疫学 2 ②授業概要 疫学の感染症対策でのあり方について述べる ことができる。第3回から第5回の授業のまとめとして、第1回レポートを設定します。1週間後を締切とし、 感染症と疫学を内容とする論述課題とします。締切後、解答例の解説を含む問題解説を共有し ます。（E1, I3） ③予習（100分）ジョン・スノーのコレラ対策について調べておく。 ④復習（140分）感染症対応での疫学を用いた事例を調査し、レポートにまとめる。
	6	①授業テーマ 病原微生物とは ②授業概要 感染症の病原因子となる病原体について特徴を概説できる。（E1,I3） ③予習（140分）病原体の種類について調べておく。 ④復習（100分）疾病と病原体の種類について確認しておく。
	7	①授業テーマ 感染症と法律 ②授業概要 感染症に関わる法律について概説できる。感染症法に規定する感染症の類 型について対応法も含めて列記できる。（E1,I2） ③予習（120分）感染症法による感染症の類型を調べる。 ④復習（120分）感染症法に規定する感染症の類型による対応を確認する。
	8	①授業テーマ 新興感染症・再興感染症 ②授業概要 感染症の時代・社会背景にあわせた流行について説明できる。感染症サバ ーランスについて概説できる。（E1,I2,I3） ③予習（100分）新興感染症・再興感染症の種類を調べる。 ④復習（140分）新興感染症・再興感染症の現状を調べ、それぞれの代表的な疾患につ いてまとめる。
	9	①授業テーマ 感染症への対応 1 消毒・滅菌 ②授業概要 感染症への対処の基本の一つである消毒・滅菌について概説できる。 担当教員の実務経験を踏まえて、消毒・滅菌について、具体的な事例を用いて説明し ます。（E1,I3） ③予習（120分）滅菌と消毒の差について調べる。 ④復習（120分）消毒・滅菌の対応と限界を確認する。
	10	①授業テーマ 感染症への対応 2 感染源対策・感染経路対策 ②授業概要 感染源対策について概説できる。各種感染経路及び対策について概説でき る。 担当教員の実務経験を踏まえて、実例を用いて感染源・感染経路対策を説明します。 （E1,I3） ③予習（100分）感染経路について調べる。 ④復習（140分）各種感染の感染様式について確認する。

	11 ①授業テーマ 感染症への対応3 感染者・患者 ②授業概要 宿主の抵抗性と感染・患者の関係について概説できる。予防接種の意義について概説できる。第8回から第11回の授業のまとめとして、第2回レポートを設定します。1週間後を締切とし、感染症予防対策を内容とする論述課題とします。締切後、解答例の解説を含む問題解説を共有します。(E1,I2,I3) ③予習(120分) 宿主の抵抗について調べる。 ④復習(120分) 予防接種の社会的な意義(危機管理的意義)についてレポートにまとめる。
	12 ①授業テーマ パンデミックとは ②授業概要 感染症の流行形態について概説できる。(E1) ③予習(120分) パンデミックとアウトブレイクについて調べる。 ④復習(120分) パンデミックの事例について調査し、説明する。
	13 ①授業テーマ 感染症における国際協力 ②授業概要 感染症流行時における国際間の協力について概説できる。検疫・WHOのあり方について説明できる。(E1,I3) ③予習(100分) 感染症対策の国際間の事例について調べる。 ④復習(140分) 感染症流行時における国際間の協力についての事例をまとめる。
	14 ①授業テーマ 感染症対策と人権 ②授業概要 感染者の人権及び医療についてのあり方について概説できる。第12回から14回の授業のまとめとして、第3回レポートを設定します。1週間後を締切とし、感染症と社会・人権を内容とする論述課題とします。締切後、解答例の解説を含む問題解説を共有します。(E1,I3) ③予習(100分) 感染症患者の医療の状態について調べる。 ④復習(140分) 感染症患者の人権について、レポートをまとめる。
	15 ①授業テーマ バイオテロリズムにおける感染症 ②授業概要 生物兵器の禁止の経緯を概説できる。バイオテロリズムの対象となっている微生物を概説できる。(E1,I2,I3) ③予習(120分) 生物兵器禁止条約を調べる。 ④復習(120分) わが国のバイオテロリズム対応について確認する。
関連科目	公衆衛生学(RMGT3304)
教科書	
参考書・参考URL	公衆衛生がみえる2022-2023, 医療情報科学研究所, 2022, ISDN978-4-89632-858-5
連絡先・オフィスアワー	
研究比率	

